

2012年度

入学試験問題

国語

50分

1. 受験番号・氏名を解答用紙に書くこと。
2. 受験番号は算用数字で書くこと。(例:123)
3. 答はすべて解答用紙に記入すること。
4. 配布されたもの以外の下じき・用紙は使わないこと。
5. 用紙を立てて見ないこと。
6. 質問(印刷不明のところだけ)のある場合、鉛筆などを落とした場合、
トイレに行きたくなった場合、気持ちのわるくなった場合は、だまっ
て手をあげることを禁ずる。

【一】 次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

みなさんは、「マニュアル」という外来語を聞いたことがありますか。もともとは英語なのですが、日本語の表現としては、「マニュアル操作をする」「マニュアルを読む」「仕事をマニュアル化する」などという言い方で使われています。そして、日本語の中では、その意味を二通りに使い分けています。

一つは、「マニュアル操作をする」といった場合の意味で、手で動かすこと・手を使うことを意味しています。自動車についての知識を持っている人ならば、手で変速装置を操作するタイプの車を、「マニュアル車」などと呼ぶのを聞いたことがあるでしょう。今家用車の多くは、運転をできるだけ楽にするために、このような操作をコンピュータなどでコントロールして自動的に行う「オートマチック車」が主流になっていますが、「マニュアル車」に運転することの魅力を感じる人もいまだに少なくありません。何でも機械任せにするのではなく、運転者自身の判断や運転技術が反映されて、自分で車を操っているという感覚に浸れるからかもしれません。

「マニュアルを読む」という言い方をした場合の「マニュアル」は、使用説明書とか手引き書といった意味で用いられています。電化製品などを買ったときについてくる、製品の取り扱い方を説明している冊子がそれです。中を開くと、「このたびは、お買い上げいただきありがとうございます。この説明書には、製品の使い方がまとめられています。内容をご理解の上、正しくご使用ください。」とか、「本製品を安全にお使いいただくために重要な事項が記載されています。よくお読みください。」などといった前書きの後に、その製品の使い方や注意事項、使っていて困った場合の対処の仕方など、それはそれはいいねいに、考えようによつてはしつこいと感じられるくらいに書かれています。初めてその製品を使う人であっても、「マニュアル」をきちんと読めば「正しく」「安全に」使うことができるようになっていきます。特に最近の電化製品はコンピュータを組み込んだものであるために、とても便利になり、一つの製品でいろいろなことができる①多機能化が進んでいます。たとえば、体重計一つを取り上げてみても、ただ体重を測定するだけではなく、その結果を記憶して変化を追ったり、カロリー計算までしてダイエットに役立てることができたりと、②至れり尽くせりの健康管理機能を持つものが売られています。携帯電話にしても、電話やメールといった基本的な通信機能以外に、カメラやテレビ、さらには現金情報を記録して実際にお金のかわりに使えるおサイフケータイなどといった多くの機能を備えた、もはや電話と呼ぶのをためらうような機種が各社から次々に売り出されています。しかし、多機能化が進んだ製品を十分に使いこなすためには、そのたくさんの機能を操作するための説明が必要となり、「マニュアル」もペー

ジ数の多いものになってしまうのです。携帯電話などに至っては、厚さが二センチくらいの分厚い「マニュアル」がついていて、全部読んでもから使おうなどと考えたら、読むだけでかなりの時間を必要とするばかりか、内容も簡単には覚えきれず、それだけでうんざりしてしまうでしょう。そこで、製品によつては、「マニュアル」の初めの方に「簡単操作ガイド」がまとめてあつて、基本的な機能に限られた使い方がとりあえずできるようになっていたりと、よく使う機能や知っている便利な機能を簡単に検索できるようになっていたりします。

「仕事をマニュアル化する」という言い方をした場合の「マニュアル」も手引き書という意味で、仕事の手順を文章などにまとめたものを言います。仕事をするときに、作業手順などの「マニュアル」を作っておけば、誰がやっても仕事内容に大きなずれや失敗が生じにくくなり、仕事の安定化が図れます。「マニュアル」をきちんと読めば製品を使うように、仕事も「正しく」「安全に」こなせるということでしょう。ファミリーレストランやコンビニエンスストアなどで客と対応する店員のことばづかいを思い出してみてください。「いらっしゃいませ、こんにちは。ご注文はお決まりでしょうか。」といったように、いつでも、どの店員でも、しかもどの店舗でもまったく同じ言い回しで、客に失礼のないようにことばづかいまで「マニュアル化」しているのです。多店舗展開している外食産業や、加盟店を募つてチェーン展開する企業などにとっては、いまや「マニュアル化」は欠かすことのできない方法となっています。

しかし、③このような「マニュアル化」には、よい面ばかりがあるわけではありません。

最近のスーパーマーケットやコンビニエンスストアでは、代金を支払うとき、バーコードリーダーという機械が用いられています。商品の一つ一つに、バーコードと呼ばれる白と黒のしま模様（かんかく）が印刷されていて、その線の太さと間隔を変えらることによって商品名や価格などさまざまな情報がわかるようになっていますが、その情報を読み取ることで機械がバーコードリーダーです。これを導入している店舗の基本的な「マニュアル」では、店員は会計時に商品のバーコードを一つ一つバーコードリーダーにかざすことになっています。バーコードリーダーを使えば、いつ、どんな商品が、いくつぐらい売れたかといった情報が記録され、商品管理がしやすくなります。また、店員は、商品のバーコードをバーコードリーダーにかざすだけでいいわけですから、レジスターにいちいち金額を打ち込んで計算していた時代と比べ、はるかに短時間で会計が済ませられるようになって作業能率が向上しました。さらに、計算間違いも減りました。

ある日、私が乗車するバスの発車時刻を気にしながら、一つ百円の同一商品を十個まとめ買いして会計をしようとしたときのことでした。店員は、「いらっしゃいませ、こんにちは。」と、午後八時ごろであるにもかかわらず決まりきったあいさつをし、「百円がお一つ。」と一回繰り返しながら、バーコードリーダーに十回商品をかざしたのです。こうすれば、時間がかかりはしても、一見同じ商品に見えて異なる商品を見誤ったり、誤った個数のキーを押してしまったりするミスを防げるのですから、店員の行動は、仕事を「正しく」「安全に」こ

なすための基本的な「マニュアル」に忠実だったと言えます。応対も表面的にはいいねに見えるのですが、ちょっと考えてみれば、「こ
んばんは。」であつたでしょうし、一つの商品だけバーコードリーダーを通して十倍するキーを押せば同じ作業を十回繰り返す必要もなく、
時間の短縮だつてきたでしょう。あまり時間がかかるので、私はバスに乗り遅れるのではないかと④気が気ではありませんでした。

また、次のような場合を考えてみてください。会社などの組織では、部下は上司の指示や命令を受けて仕事をし、様々な場面で上司の判
断を仰ぎますが、特に、事故など緊急時の対応については、上司や責任者と連絡を取ってから対処するように「マニュアル」が作られて
いることがあります。けれども実際に事故が発生したとき、「マニュアル」どおりに行動することが必ずしもよい結果を生むとは限りませ
ん。たとえば、上司との連絡に手間取ったり、責任者の判断が下るのに時間がかかったりして、現場の状況に応じて柔軟な対応をして
いれば防げたはずの深刻な事態を招いてしまうようなこともあるでしょう。

さきほど私は、仕事を「マニュアル化」することによって、誰がやっても仕事内容に大きなふれや失敗が生じにくくなり、仕事の安定化
が図れると述べました。それは見方をかえれば、仕事に従事する者の考えや判断を排除する方法が「マニュアル化」だということでもあり
ます。したがって、「マニュアル」どおりの仕事からは、新しいものや新しいやり方は生まれてきません。また、「マニュアル」は、想定さ
れることがらに対応するように作られていますので、想定外の状況に対しては対処できません。近年、仕事に限らずこうした作業の「マニ
ュアル化」が進み、私たちには「マニュアル」のある生活が当たり前になっています。しかし、行動を「マニュアル化」し、それに慣れて
しまうことによって、創意工夫や臨機応変の姿勢が失われる危険性には、心を向けておきたいと思います。

(本文は本校国語科による。)

問一 傍線部①「多機能化」が進んだ製品の「マニュアル」には、どのような問題点がありますか。

問二 傍線部③「このような『マニュアル化』には、よい面ばかりがあるわけではありません。」とありますが、これについて次の問に答
えなさい。

(1) 「マニュアル化」とは、どうすることですか。

(2) 「マニュアル化」の長所は、どのようなことですか。

(3) 「マニュアル化」の短所は、どのようなことですか。

問三 傍線部②「至れり尽くせり」、傍線部④「気が気ではありません」とありますが、(1)「至れり尽くせり」(2)「気が気ではない」の意
味として、最も適当なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

(1) 「至れり尽くせり」

ア 何も不満がおきない

イ 十分過ぎるくらいである

ウ 言い尽くすことができない

エ 何もかもよくいきとどいている

(2) 「気が気ではない」

ア 心配で言葉も出てこない

イ 気になって落ち着いていられない

ウ 腹が立ってしかたがない

エ あせりから正気でいられない

問四 二重傍線部A～Dの「ため」の中で一つだけ意味の違うものがあります。その記号を答えなさい。

【二】 次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

少女ジェスは、イギリスの金属工業のさかんな町、シェフィールドで生まれ育った。父親のマイクは工場で働き、母親のジョウジイは学校の先生をしている。「わたし」ジェスは十三歳、兄のジョンは近ごろサイクリングに夢中になっている。

この日の夕食のつどいはジョンの当番だったから、わたしはじぶんの部屋で復習をしていた。ママが歴史の先生なのに、わたしは歴史の試験で落第点をとってしまったのだ。ママはそれほど気にしていないようだったが、わたしはたまらない気持ちで、二度と落第点なんか取らないと決心した。パパが二階にいるわたしを呼んで、バスルームの乾燥機の中からテーブルクロスを取ってきてくれないかといった。

「ぼくがやる」①ジョンがすごい勢いで階段をかけたときには、わたしはすでに乾燥機の前に立っていた。そのとびらを開けると、なにかが猛烈な勢いで顔に飛びかかってきた。わたしは金切り声をあげ、ジョンがわたしを押しつけた。ママがあわてて飛びこんできた。

「ちよつと、いったいなにごとなの？」ママの声は鋭かった。ジョンがかかえていたのは灰色の鳩だった。鳩は目に恐怖をみながら、手のなかで、けんめいにもがいていた。わたしはふるえがとまらなかった。あの羽根が、顔を叩きつけてきたときの驚きは一生忘れられない。ママは乾燥機から鳩の糞のついたテーブルクロスや下着、シャツなどを取り出しながら怒っていた。

「なんでまたこんなところに鳩が入りこんだのかしら？」

「ぼくが入れた」ジョンがいった。

「乾燥機に？」

「ごめんなさい、ママ。悪かったよ。サイクリングのちゅうでみつけたんだ。ハギスは絶対死んでるっていったんだけど、ぼくは生きてるっていつて、だからぼく、サドルバッグに入れて持ってきたんだ。乾燥機に入れておけば、あつたまるとおもって」

「あきれたばかね」ママはわたしと同様すっかり取り乱していた。「ほんとにばかよ。シャツもなにもかも、みんなめっちゃめっちゃやない

の、すぐに捨ててらっしゃい」

ジョンは鳩を胸にしっかりと抱きしめて立っていた。鳩はまるでジョンの心臓そのもののようにとどきどき波打っていた。

「捨ててらっしゃいったら！」ママは叫んだ。「家のなかに鳥がいるなんてぞつとするわ」

さつきまでジョンといっしょに小麦粉をこねていたパパが、粉だらけのまま、騒ぎをのぞきにやってきた。「ジョン、はやく始末してこい」

「始末してこいつてどういうこと？」

「拾ったところに返してこい」

「だって、パパ、グリーンフィールドの近くだよ。すつごく遠いんだ」

「いいから捨ててこい」

「でも夕飯食べてからでいいでしょう」

「夕飯はどこへも逃げないから先に捨ててこい」

ジョンは青ざめ、顔をひきつらせた。叫び声をあげたわたしが騒ぎの原因ともいえるのだから、わたしが助け舟をだせばよかったのかもしれない。けれどもわたしは両親がそろって、かわいそうなわたしの肩をもってくれるので、いい気になっていた。

「ずいぶんひどい悪ふざけしてくれたわね」わたしはいった。

「悪ふざけじゃないよ。あつためてやったら元気になるかとおもって、入れておいただけなんだから」

「で、きみの説は正しかったと証明されたわけだ」パパはジョンを廊下に引っぱりだしていった。「さあ、置いてこい」

わたしは階段をおりていくジョンを、つんと見送った。

この日の日暮れは早かった。ジョンは帰ってこない。ママはテスト用紙の束を持ちだして採点をはじめ、それに没頭しているふりをしていった。けれども②ボールペンでコツコツとテーブルをたたいてばかりいて、しょっちゅう窓の外に目を走らせている。窓に映るのは、うつむいているわたしたちの姿ばかりだ。ジョンはもう帰ってこないような気がしてきた。ダービーシャーの暗い小道をもくもくと自転車をこぎつづけているジョンの姿が目に見えた。

「③ママ、歴史でわかんないところあるの。あした試験だから教えてくれない？」

「じぶんでやりなさい」

わたしは猫の鼻先で紙きれをびらびらさせてからかいはじめた。いやがる猫をあいていつまでもしつこくからかっていると、しまいにパパがびしやりとわたしの手を叩いた。

ついに車輪の音がした。ママはすばやく立ち上がってカーテンを引き、書類にもどった。パパはオープンの火を消した。

「腹へったか？」

ジョンは返事をしなかった。部屋に入るなり、手足をなげだしてどきりと肘掛椅子に腰をおろした。相当に疲れているようだった。涙をこすったあとらしく、目のまわりにどろのすじがついている。

「また持って帰ってきたからね」ジョンはいった。

これをきいてパパが台所から顔をだしたが、あまりのことに物もいえないようだった。ジョンはそつと上着の前を開け、おとなしく丸まっている鳩をとりだした。ジョンがやさしくなると、鳩は静かな目でわたしたちをみつめた。すると猫のパディが背中の毛を逆立て、しつぽをふくらませてうなったので、わたしはあわててパディをなだめた。

「どうしてなの？」ママがたずねた。

「ちゃんとみつけたところまで連れて戻ったんだ。すつごく遠いんだよ。ロングショウの地所の樹の根元に置いてやつたら、こいつ羽根をひろげてへたりこんだんだ。それで一度はそこを離れたんだけど、ほんとうにだいたいぶなのか気になって、もういつべんもどつてみた。そしたらやっぱりおなじ場所におなじかつこうをしてへばりついているんだ。だから持ちあげて、飛べるのかどうかために投げてみた。そしたらそのまま落っこちちゃったんだよ。飛べないんだ。だからまた連れてかえった。ぼくが世話をする」

「飛べないのは、なにもジョンの責任じゃないんでしょう」わたしがいった。

「みつけた以上ぼくの責任だよ。ほつとけば死んじゃうもの見捨てるなんて、パパやママだつてできないだろう」

パパとママのあいだにすばやく視線が交わされたが、わたしにはそれがどういう意味なのかわからなかった。ママは本をむこうに押しやって、あきらめたというふうにいって。

「マイク、ジョンにごはんの用意をしてやつてちょうだい。④たしか車のトランクにダンボール箱があつたはずだから、わたし行つて取つてくるわ」

ジョンが食事をしているあいだ、鳩はダンボールの中でカサカサ音をたてて歩きまわり、猫のパディは部屋にただよう鳩の臭いのせいで落ちつかなかった。ジョンは食事がすむと、パンくずとミルクをあわせたものを、鳩のくちばしにつつこんでやった。わたしもおそろおそ

る箱の中をのぞいてはみたものの、とても触る気にはならなかった。

「鳩つて（注）気管支の病氣うつすんだつて。あとで後悔したつて遅いんだから」わたしはジョンにいった。

猫のパティが襲いかかるかもしれないので、ママはジョンにその箱をじぶんの部屋に持つてあがることをゆるした。その晩わたしはほとんど徹夜で歴史の勉強をしていたけれど、ジョンも鳩がひつかく音が気になり、やはりひと晩じゅう眠れなかったにちがいない。

⑤つぎの朝、わたしは箱を自転車小屋に運ぶジョンのあとをついていった。

「その鳩一生飼うつもり？」

「鳩が生きてるかぎりはね」

「でも弱つてるんでしょ？」

わたしは箱の中をのぞきこんだ。鳩は足をすつて隅に逃げた。

「持つてみてごらんよ。いいよ、抱きたいんなら」

「やだ。ぞつとしちゃうもん」

「なんだよ、鳥をみてぞつとするやつなんかいるか」

「きらいつてわけじゃないんだけど、抱くこと考えるとぞつとするんだもん。からだじゅうかゆくなっちゃう」

「恐がつてただだよ。恐いことあるもんか。そんな時間のむださ、すわつてごらん」

わたしがひざをついてしゃがむと、ジョンは両手で鳩の翼を包むようにして箱からとりだし、わたしの前にさしだした。受けとらなかつたら、あの翼がまたもや顔にかかるかとおもうと恐ろしく、わたしは観念してその鳩を受けとった。そしてそのまま鳩を抱いていた。おもしろいのか軽く、温かく、とくとくと波打ち、せかせかとおびえている小さな生きもの。わたしは鳩を安心させるようにかろく舌を鳴らした。わたしも鳩も、ともに落ちついたところをみはからつて、ジョンはふたたび鳩を抱きとった。

「ほらね、これでもう恐くなくなっただろう」（バーリー・ドハーティ作／中川千尋訳『シェフィールドを待つ日』）

（注）気管支＝気管が二つにわかれてから左右の肺に入るまでの部分。

問一 傍線部①「ジョンがすごい勢いで階段をかけのぼってきた」とありますが、ジョンはどうしてこのようにしたのですか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア この日の家事の手伝いは、当番である自分がすべてやるつもりであつたから。
イ 自分が乾燥機であたためていた鳩を家族に見つけられるのをおそれたから。
ウ ジェスが鳩と接触して、病気がうつされるのではないかと不安だつたから。
エ 乾燥機に入れたのは自分なので、元氣になつた鳩を最初に見たかつたから。

問二 傍線部②「ボールペンでコツコツとテーブルをたたいてばかりいて、しよつちゅう窓の外に目を走らせている。」とありますが、このときママはどのような気持ちでしたか。

問三 傍線部③「ママ、歴史でわかんないとこあるの。あした試験だから教えてくれない？」とありますが、このときのジェスの気持ちとして最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。
ア ジョンの悪ふざけをしかつたママに対して、自分は味方であることをそれとなく伝えようとしている。
イ ジョンが外出して静かになつた家の中で、ママに歴史について教わつて勉強に集中しようとしている。
ウ ジョンのことで家族の気持ちがいびかれていることにたえられず、別の話で気をまぎらせようとしている。
エ ジョンが持ちこんだ鳩の問題よりも歴史の試験の方が大事だと、ママに気づいてもらおうとしている。

問四 傍線部④「たしか車のトランクにダンボール箱があつたはずだから、わたし行つて取つてくるわ」とありますが、ママが鳩を飼うことを許す気持ちになつたのはなぜですか。

問五 傍線部⑤「つぎの朝、わたしは箱を自転車小屋に運ぶジョンのあとをついていった。」とありますが、このあと「わたし」の鳩に対する気持ちはどのように変わりましたか。

- 【三】 次のカタカナの部分に漢字に直しなさい。
- | | | | | | |
|----|---------------|----|-------------|----|----------------|
| 1 | 人の気持ちをスイサツする。 | 2 | ミンシュウの声をきく。 | 3 | チヨスイチを見学する。 |
| 4 | 世の中のフウチヨウ。 | 5 | 船のキテキが鳴る。 | 6 | 海外のヒキヨウをおとずれる。 |
| 7 | 午後五時にヘイカンする。 | 8 | コンセンを制する。 | 9 | 時間をゲンシュする。 |
| 10 | 心臓をイシヨクする。 | 11 | ハが立たない。 | 12 | 人数をフやす。 |
| 13 | 見る目をヤシナう。 | 14 | 土をカタめる。 | 15 | 念仏をトナえる。 |